

# 議会だより そとがはま

第74号

令和5年11月

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会予定  
12月8日(金)~12日(火)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



**蟹田小学校5年生 稲刈り (令和5年9月25日)**

## 目次

- 第146回9月定例会／2～9
- 一般質問：6議員が登壇／10～15

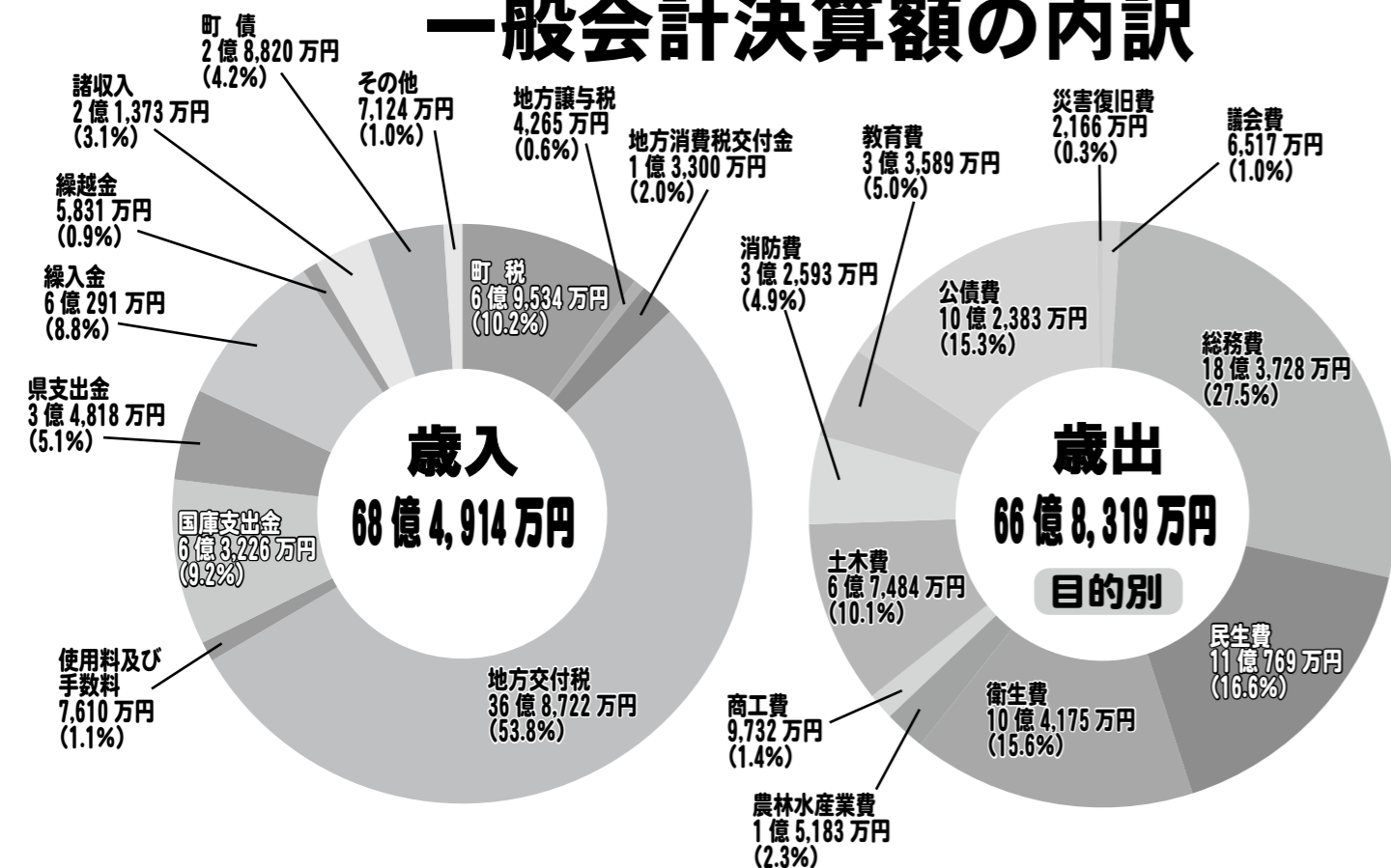
- 第145回臨時会／16
- 議会活動報告ほか／17～18



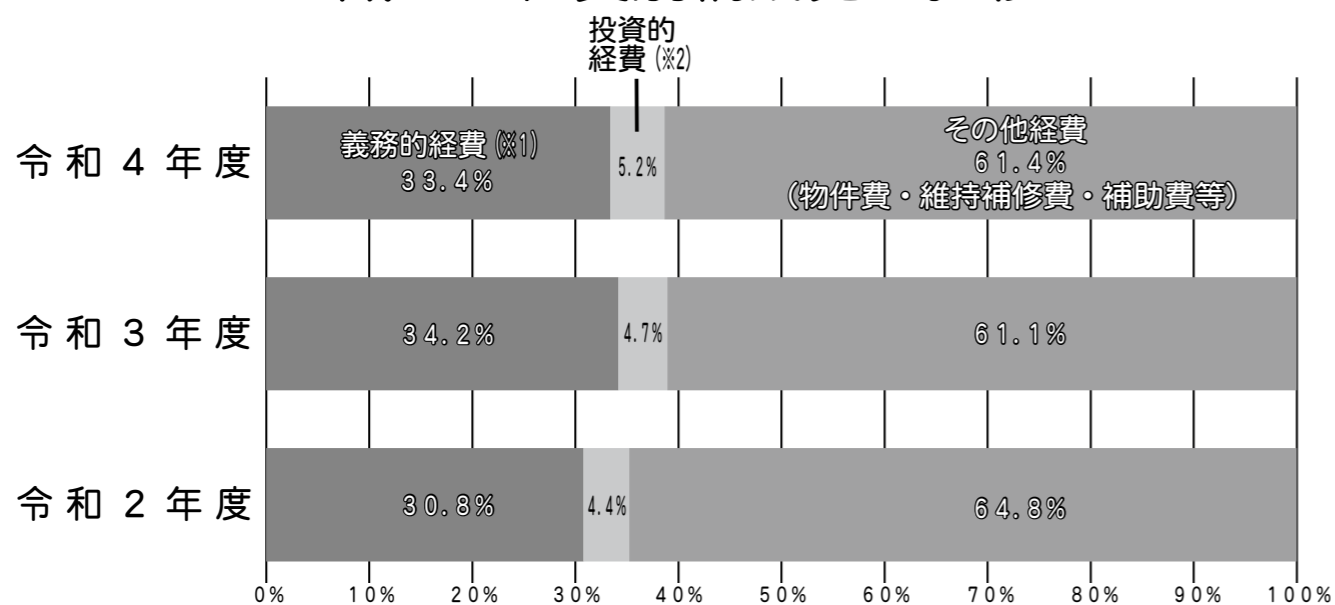
# 令和4年度 一般会計・特別会計・企業会計

# 11会計の歳入歳出決算を認定

## 一般会計決算額の内訳



## 歳出の性質別構成比と推移



(※1) 義務的経費とは、支出が法令で義務付けられた任意に削減出来ない経費で人件費、公債費、扶助費の合計額

(※2) 投資的経費とは、支出が資本の形成に向けられる経費で普通建設事業費、災害復旧事業費の合計額

第146回定例会は、9月8日から9月14日までの7日間の日程で開催しました。

補正予算案、町条例の一部改正案、議員発議「外ヶ浜町議会議員の請負の状況の公表に関する条例案」など合わせて8件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

令和4年度の一般会計、特別会計、企業会計の歳入歳出決算認定については、決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり認定しました。

一般質問は、6人の議員が登壇し、通告順に10〜15ページに掲載しています。

### 令和4年度一般・特別会計の決算額

| 区分      | 歳入         | 歳出         | 差引残額      | 歳出前年度比 |
|---------|------------|------------|-----------|--------|
| 一般会計    | 68億4,914万円 | 66億8,319万円 | 1億6,595万円 | 105.7% |
| 国民健康保険  | 9億4,922万円  | 9億4,402万円  | 520万円     | 94.0%  |
| 介護保険    | 12億3,105万円 | 12億1,425万円 | 1,680万円   | 98.3%  |
| 大字費     | 83万円       | 83万円       | 0円        | 97.1%  |
| 平館財産区   | 2千円        | 2千円        | 0円        | 100.0% |
| 根岸財産区   | 2千円        | 2千円        | 0円        | 100.0% |
| 野田財産区   | 1万円        | 1万円        | 0円        | 1.1%   |
| 下水道     | 2億9,246万円  | 2億9,008万円  | 238万円     | 113.9% |
| 後期高齢者医療 | 1億496万円    | 1億258万円    | 238万円     | 101.2% |
| 合計      | 94億2,767万円 | 92億3,495万円 | 1億9,271万円 | 103.5% |

### 令和4年度病院事業会計の決算額

| 区分    | 収入         | 支出         | 差引残額     | 支出前年度比 |
|-------|------------|------------|----------|--------|
| 収益的収支 | 11億1,024万円 | 11億430万円   | 594万円    | 102.0% |
| 資本的収支 | 6,215万円    | 8,348万円    | ▲2,133万円 | 110.4% |
| 合計    | 11億7,239万円 | 11億8,778万円 | ▲1,539万円 | 102.5% |

### 令和4年度簡易水道事業会計の決算額

| 区分    | 収入        | 支出        | 差引残額       | 支出前年度比 |
|-------|-----------|-----------|------------|--------|
| 収益的収支 | 2億7,083万円 | 2億5,562万円 | 1,521万円    | 108.3% |
| 資本的収支 | 4,637万円   | 1億6,970万円 | ▲1億2,333万円 | 115.6% |
| 合計    | 3億1,720万円 | 4億2,532万円 | ▲1億812万円   | 111.1% |

※病院事業会計、簡易水道事業会計の決算額には仮受、仮払消費税が含まれた金額で掲載しています。

まちの家計簿 決算特別委員会で慎重に審査



決算特別委員会（石岡勉委員長）は、9月11日、12日、13日の3日間にわたって開かれ、慎重に審査しました。ここでは審査の中から主な質疑について、内容を要約して掲載します。

たがてん（水た）

一般会計

個人番号カード交付事業

福井洋一委員／個人番号カード交付について、マスクミ等で誤入力があったと聞いているが、当町において公金取扱口座や健康保険の情報の誤入力等はあったのか。

住民課長／当町においては、紐づけ等、入力した際に町でログオフ（コンピュータからの接続解除）しているの、その関係上、誤登録

や誤入力は発生していない。今回のシステムにおいては、他町村ではログオフ自体していない状態で、また新たに入力したことによって前のデータを読み込むことで、そういう現象が起きていると認識している。当町においては毎回ログオフしてデータもクリアしながら実施しているの、今後も発生しないと認識している。

生活困窮者就業準備支援事業 戒修委員／この事業は、生活に困っている方に仕事が見つかるまでの生活費を支給するものなのか。それとも、具

体的に仕事を始めるまでに何か教育的なことをするものなのか。 福祉課長／お金を相談者等に支払うというものはなく、ほのぼのの交流協力隊の配置による見守り活動や、協力員を地域に配置して見守り活動などを社会福祉協議会に委託して行っている事業である。

ホタテ貝育苗対策補助金

鈴木進委員／1軒当たりの成貝の数は。 産業観光課長／1軒当たり約300キロ分の半成貝を出荷しないで、そのまま親貝として使用したものである。

鈴木進委員／海水温が高いときに半成貝を上げ下げすれば死んでしまうというニュースを見た。今後、例えば300キロあったものが200キロも死んでしまうということ



過去のホタテガイ実態調査

も考えられる。その辺はこれからも注視して、例えば来年も事業を進めるのであれば、リスクを避けて多くするとか、対策を考えていかなければならないと思うが。

産業観光課長／現在町で補助している部分についての成果、そして、陸奥湾全体でもどのような考えを持っているのかということも、県内の漁業関係者等にも聞き

町民健康保険特別会計

福井洋一委員／国保会計については520万3000円黒字になり、それを基金に繰り入れると説明を受けた。基金の総額はどれくらいが適正だと考えているか。

二ロータリー車を導入して、交通の安全確保にぜひ力を入れていただきたい。国道だが、県のほうに要望したり、町独自の予算立てしたりという考えはないのか。

建設課長／町独自で購入する案に関して、来年度の予算要求の際に要求してみたいと考えている。実際、蓬田村で購入し使い勝手がいいということなので、厳しい財政の中だが要望してみたい。また、県のほうについては、機会があったらそのような考えがないのか相談してみたいと考えている。

防災無線整備事業

安藤英博委員／今、新しい住宅は窓ガラスが三重ガラスになってきている。結構高い音でも外からの放送が聞こえない。そういう住宅が増

各種大会参加費等助成金

総務課長／個別受信機は1台当たり10万円以上かかるものであり、防災関係の補助金を活用できると考えている。具体的はまだ検討していないので、今後の検討課題としていきたい。

柳谷隆男委員／中体の夏の夏季大会で野口泰希さんが県大会300メートルで2位になり東北大会に出場した。その中で、どの範囲内で派遣費を助成しているのか。

また、高校2年生の浜谷梨緒さんも、東北大会に出場して優勝したことも大変誇りに思う。助成していなければ助成を考えるとほしい。ポートで木野田沙帆子さんが全国大会で優勝した。来年度パリオリンピックに出場が決まったら、ぜひお祝い金も考えていただきたい。

われた場合、あるいは県外で行われた場合は、要綱で定められているのでその要綱に従って町から交付することになる。義務教育の小中学生は町の管理だが、高校生まではそういった補助は行っていない。また、オリンピックに出た場合とかは、おめでたいことなので町全体で考えていければと考えている。



役場本庁玄関ホールの応援幕

国民健康保険特別会計 基金繰入について

福井洋一委員／国保会計については520万3000円黒字になり、それを基金に繰り入れると説明を受けた。基金の総額はどれくらいが適正だと考えているか。

住民課長／今回の黒字化で520万3371円を基金に入れた。7月末の基金残高が1億2295万3885円となっている。基金については国民健康保険基金条例があり、特別会計療養給付費毎月支払いのおおむね2カ月分を支弁し得るに至る額となっている。年間の療養費が大体で6億円となっており、平均すれば毎月4500万円から5500万円となる。よって、妥当な基金残高と



介護保険特別会計

家族介護慰労金

問 安藤英博委員／決算で15万円出ていたが、寝たきりの方々もたくさんいる。また、介護保険を使っても1カ月7万円、8万円、多い人であれば13万円、14万円と大変家庭の負担になり本当に苦勞されている。対象者が多い割には支援の人数が少ない。これはもっと緩和して見直すべきではないか。

答 福祉課長／国の地域支援事業の補助事業で、その基準の中で実施している。介護する側も介護される側も非課税世帯という基準になっている。国の基準にのっとってやっているものなので、現状では増やすことはできないが、引き続き検討していきたい。

下水道特別会計

浄化槽設置事業

問 安藤英博委員／現在、下水道の加入者がなかなか増えていないと報告された。亡くなって脱退する方々も増えてくる中で、下水道が通っていないところの工事は停止している状況だと思う。下水道の将来的な計画が無いのであれば、合併浄化槽を使用していくべきだと思うが。

答 住民課長／浄化槽設置事業は年間予算化しており、本年については7人槽の申請が3件ある。1件については県へ追加の申請をしており、今年度は3件を実施する予定である。今後、合併浄化槽が増えていく傾向にあるのであれば、計画を変更して枠を多くとって補助をしていきたい。

後期高齢者医療特別会計

普通徴収・特別徴収

問 福井洋一委員／今、普通徴収で、次年度、特別徴収に変わったときの通知文書が非常に分かりづらい。なぜ変わったかという理由も書かれていない。コンピュータから出した文書になっていて、自分たちがどう普通徴収から特別徴収に変わったとか、あなたはずつと普通徴収の継続だと分かるよう、担当者で考えて文章をつくっていただきたい。

答 住民課長／確かに文章が固いなど思っている。コンピュータ上から出てくるものもある。その部分はもう少しカスタマイズしながら、普通徴収とは何か、特別徴収とは何か、分かる形で対応していきたい。

病院事業会計

未収金について

問 安藤英博委員／入院したことによって働くこともできず、その後生活保護になった方々は、医療費が未払いとなる。入院費は税ではないので、これは免除になるのか。

答 中央病院事務長／その時点ではなかった医療費は納めてもらうという考え方でやっている。

問 安藤英博委員／生活保護を受ける前にかかったものについて、生活保護費から払っていくのも大変困難だと思う。払っていききたいという気持ちの方もあると思うが、柔軟性をもって対応していただきたい。

問 福井洋一委員／有収水量が55万4788m<sup>3</sup>、前年度比で3・75%下がっている。この有収水量が低下してきている主な原因は。
答 建設課長／漏水が主なる原因だと考えている。特に蟹田地区の漏水が多いと考えている。漏水に関しては定期的に調査をしており、蟹田地区については平成30年度と令和4年度に実施したが、漏水した箇所は見つからなかった。
要望 福井洋一委員／抜本的に考え方を变えて、全国の事例に学びながら、どこの調査会社が見つけられるかを高めて漏水を見つけていくことを、ぜひやっていただきたい。

国民健康保険特別会計

反対 安藤 英博 議員
自営業者、年金生活者の多くの方々は、国民健康保険に加入している。今日、食料品や電気、ガス、灯油、ガソリンなどの生活にかかわるものが次々と値上げされ、年金生活者の町民は、やっとの思いで国保税を納めている。払いたいが生活するために大変だという声がたくさん上がっている。

経済的にも弱い立場のフリーランスや非正規雇用の方、年金生活者の人が加入しているのが国民健康保険である。今必要なのは、国庫負担を増やすことを国に働きかけること。外ヶ浜町の将来を担う全ての子どもへの均等割をやめて、子どもがいる世帯を支援することが必要である。

介護保険特別会計

反対 安藤 英博 議員
介護保険料は3年ごとの料金が上がり、利用者の負担の増大と給付制限やサービス内容の削減が続いている。高くて払い切れない介護保険料で苦しむ高齢者のことを思うと、介護保険料の引下げや減免を実施することを求める。

国による介護保険制度改悪を許さず、不安なく老後生活を送れる高齢者福祉の充実のために、町独自施策を進めて、その努力をすることを強く求めることを申し上げて反対討論とする。

反対 安藤 英博 議員
75歳を迎えた高齢者を、これまでの医療保険から強制的に追

後期高齢者医療特別会計

賛成 戎 修 議員
決算は、決定された予算が適正に執行されているかどうか審

一般特別会計

い出して負担をさせることで、国の公的医療費を削っていくという制度そのものに強く反対する。年金収入が少ない高齢者からは、保険料を払うのも大変だという声が多く出されている。命に向き合う責任を一人に担っているのは、市町村である。あらゆる工夫とマンパワーによって努力している自治体だからこそ、高齢者がこれ以上の負担増に耐えられないことは実感しているはずである。国に対して、定率国庫負担割合の引上げの検討を強く要望して反対討論とする。

議するものである。決算特別委員会において決定された令和4年度の予算が不適正に執行されたという事実は1件も見当たらなかった。それどころか、反対の理由となつて低所得者に対する負担、これを解消するべきだという意見であるが、2号、3号、9号、それぞれ減免措置がなされていた。加入者全体の60%を超える方々が減免措置を受けているという事実が、質疑においてはつきりとされた。このことについては、町が制度の中で、できる限り町民に寄り添って、負担のないように努力しているという証左である。したがって、この決算の認定については、まず予算が適正に執行されたということ、さらに住民に寄り添った執行をしてきたということから、賛成をするものである。

採決結果

- ◎認定第1号 一般会計
【全会一致で認定】
◎認定第2号 国民健康保険特別会計
【賛成9・反対1で認定】
◎認定第3号 介護保険特別会計
【賛成9・反対1で認定】
◎認定第4号 大字費特別会計
【全会一致で認定】
◎認定第5号 平館財産区特別会計
【全会一致で認定】
◎認定第6号 根岸財産区特別会計
【全会一致で認定】
◎認定第7号 野田財産区特別会計
【全会一致で認定】
◎認定第8号 下水道特別会計
【全会一致で認定】
◎認定第9号 後期高齢者医療特別会計
【賛成9・反対1で認定】
◎認定第10号 病院事業会計
【全会一致で認定】
◎認定第11号 簡易水道事業会計
【全会一致で認定】



補正予算

、たがは(女)

一般会計

青函トンネル記念館

ブルカーを使ってトンネルの中に止まった特急列車から乗客を地上に出した、そういうことが事実としてある。やはり、国なりJR側のそれ相応の見合った負担をいただいているのではないかと。当然、町長一人ではなく我々議会も協力してやっ

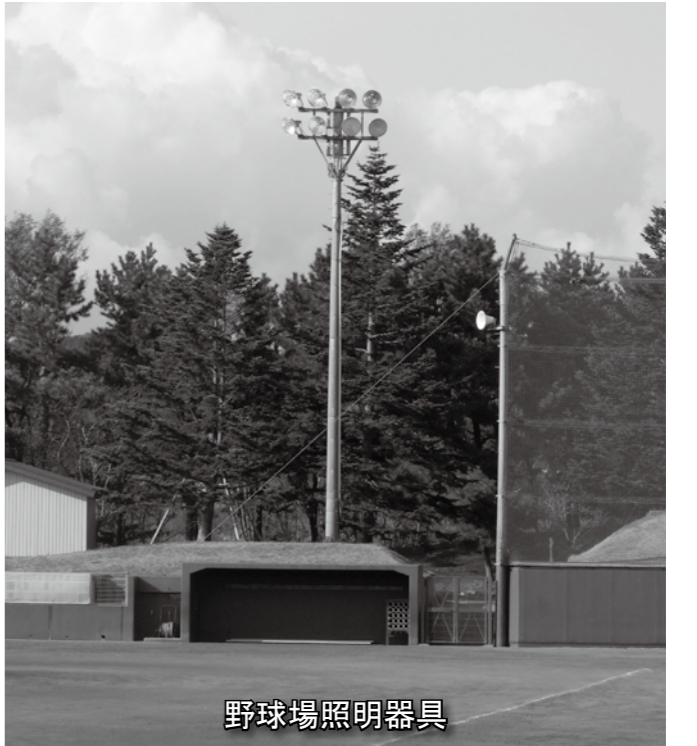
町長の見解を問う。町長/ケープルカーに関しては大変なものであり、観光資源としても安全面でも大事なものと認識をしている。JRや青森県や国と、過去にどういった約束があったかまでは伺い知れないが、言えるところは、安全が一番というところが共通していると思う。

石岡勉議員/青函トンネル記念館のケープルカーが故障し運休になって、今年度は営業できない。この後、修理してまた営業再開を目指すということには異論はないし、それをやらなくてはならないと思う。しかし、このケープルカーは青函トンネルの安全上必要なものではないのか。今回の修理もそうだが、今後運転を再開していった場合の経費、これはJR北海道にもそれ相応の負担があつてしかるべきだと思う。過去に、ケ



青函トンネル記念館体験坑道のケーブルカー

野球場照明器具改修工事



野球場照明器具

ごろ完成するのか、伺いたい。

建設課長/これから入札するまで約1カ月かかる。それからの工事になるので、工期としては長くなるが、3月までを予定している。



安藤英博議員/今回厳しい財政の中から野球場照明器具の改修工事3500万円が計上されている。先日、横山議員からも出ていたが、やっと改修されるということで、野球関係者の方々も大変よろこんでいると思う。そこで、この工事はいつから始まり、いつ

9月補正予算の状況

| ●一般会計・特別会計  |           |            |
|-------------|-----------|------------|
| 会計名         | 補正額       | 補正後の予算額    |
| 一般会計        | 1億9,216万円 | 58億9,521万円 |
| 国民健康保険特別会計  | 559万円     | 10億1,732万円 |
| 介護保険特別会計    | 1,102万円   | 12億4,392万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 238万円     | 1億838万円    |

| 会計名                   | 補正額     | 補正後の予算額   |
|-----------------------|---------|-----------|
| 簡易水道事業会計<br>(収益的収入支出) | 95万円    | 2億5,695万円 |
| 下水道事業会計<br>(収益的収入支出)  | 4,687万円 | 1億9,213万円 |

各種大会費等補助金

柳谷隆男議員/助成金が16万円ということで増額になっているが、この増額になった部分はこの競技でどなたが行ったのか。

学務課長/今後開催される蟹田中学校の新人陸上競技選手権大会、こちらを5名分見込んで

農業振興費

算出して計上したものである。

福井洋一議員/地域計画目標地図要素作成業務委託料の目的、そのことによつてどのような活用法がされて利便性が出てくるのか。

産業観光課長/農業の経営に係る基盤強化の一環で、目標とする姿を示した地図を作成する、農業基盤の経営のための地図を作成する業務になっている。



化の一環で、目標とする姿を示した地図を作成する、農業基盤の経営のための地図を作成する業務になっている。

簡易水道事業会計

貯水量について

戒修議員/この夏の町では水不足の状況が伝えられている。我が町の簡易水道において貯水量についてはどういう状況になっているのか。

建設課長/外ヶ浜町3地区の水道については、それなりに雨も降っていたので水不足の状態にはなっていない。

今定例会で可決された条例案は次のとおりです。

- ① 外ヶ浜町穀類等乾燥貯蔵施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案
- ② 外ヶ浜町議会議員の請負の状況の公表に関する条例案

外ヶ浜町穀類等乾燥調整貯蔵施設の設置及び管理に関する条例改正案について、利用料が50%以上も上がるとのこと、利用者の方々との話し合いはどうなっているのか。

産業観光課長/上限700円に決めているが、農協から出ている書類を見ると約400円の値上げでプラスマイナスゼロという収支になる予定である。こちらは、利用者の方と農協が話しをして値上げ幅が決定する流れとなっている。



穀類等乾燥調整貯蔵施設





福井洋一議員

教育の現状と取組は

◆質問①／今後の三既小学校、中学校のあり方は決まったのか。

■町長／三既小学校と三既中学校は、令和7年度実施一体型小中一貫校に移行するが、今後外ヶ浜町立または他自治体立小中学校との統合について検討を進める。

◆再質問／三既地区の令和5年の児童生徒数は31名、令和10年には20名になると推移している。町長が町のリーダーとして、未来のある子供たちに魅力ある学校づくり、あり方の指針を提示して、学校をどうすべきかという考えはなかったのか。

◆再質問／ユーチューブをダウンロードし、学校の授業でも閲覧をし、タブレットを導入したことにより、学習能力が低下したという意見もある。また、WiFi環境が

三既地区の学校再編は

答弁▼令和7年度に小中一貫校に移行

の人も納得して、一緒に行政と協力して進めていくことが私の町長としてのスタンスとして一番底にある。

◆質問②／児童生徒に一人1台のタブレットの活用は、学校現場でどのような成果が表れているのか。

■町長／タブレットを使用することで、より活発な意見交換やアイデア創出も見れるなど、効果的な一斉学習の実現にもつながっている。



タブレットを活用した授業の様子

ある家庭で通話アプリをダウンロードし、何時間も友達と話をしながらかゲームをしたり、話をしなくてもつながりいつでも話しかける、返答がない場合は仲間外れにしている。タブレットの

使用に当たっては、学校や家庭での約束事やルールづくりをしているのか。

大雨の情報について町から一切町民に情報が流されていない。テレビやラジオの情報よりも住んでいる町から防災無線で大雨の情報を発信して、町民に安心と注意喚起をすべきではないのか。

■学務課長／タブレットの使用に関するルールを作成し、学校から児童生徒に指導している。

■町長／町民の皆様の混乱を避けるため、町から無線放送をはじめ、ホームページ、公式LINEでの発信をしなかった。

◆質問③／児童生徒に快適な環境で学習ができるよう町の小中学校の全教室に冷房設備を設置する考えはないのか。

◆再質問／無線放送をしないことで、町民が逆に混乱をした。他の自治体の事例に学び、災害に対する万全の体制で臨んでほしいと考えるが。

7月15日の大雨について

◆質問／7月15日の16時に、港まつりの無線放送が流されている。しかし、

■町長／今後、避難指示に至らなくても、大雨に注意してくださいと言ってもよかったのかと思う。



石岡 勉議員

常勤医師の確保について

◆質問①／3月及び6月の定例会で何人かの議員が医師確保について質問したが、町長は医師の確保に努めるとの答弁を繰り返している。ではいつ、どこに、どのような策を講じたのか、具体的な答弁を求める。

■町長／秋山院長に今の体制でどこまでの医療提供ができて何が難しいのか、どうすれば救急を再開できるのか、県や大病院に何を要望すべきか等の相談をしている。また、勤務の可能性のある医師と面会したが、残念ながら今すぐの勤務はかなわなかったが、引き続き

常勤医師の確保について

どのような策を講じているのか

答弁▼可能性のある医師との面談、医師紹介所の利用も考えている

きコンタクトしていきたくないと考えている。これからも大病院と県に必要性を訴え、派遣を働きか

◆再質問／医師を紹介している機関等に要望を出すことも必要と思うが、やっているのか。

■中央病院事務長／県の医療業務課で医師の紹介を設けているので、こちらに情報提供し希望する医師の情報をお願いいただけるようお願いしてみたい。

◆質問②／一日でも早く救急医療の再指定、休日や夜間の救急外来の再開こそ住民の安心につながる。新病院の建設を含め再度お聞きする。

■町長／救急指定の再開は、今まで答弁した様になるべく早く行いたい。新築予定の病院についても、あくまで診療所ではなく救急指定を取った病

院として建設を目指したい。

龍飛岬周辺の町道及びトイレについて

◆質問①／町道竜飛2号線は昨年8月の大雨で崩壊し現在も通行止めである。この工事の進捗状況及び完成はいつになるのか。

■町長／工事の施工については、7月に業者と契約し完成は11月頃になる見込みである。今季の観光シーズンには間に合わなかったが作業を進めているので、理解をお願いしたい。

◆質問②／岬周辺の町道の状況が非常に悪い。穴だらけ、ヒビ割れだらけの箇所もある。補修の予

定は。

■町長／トンネル記念館からシーサイドパークに向かうところは今、ちょうど舗装補修を行っている。他の箇所は優先順位を付けながらやっていく。

◆再質問／トンネル工事殉職者の慰霊碑から展望台への道は草だらけである。草刈りはしないのか。

◆質問③／トンネル記念館のケープル巻き上げ塔の脇にナンバーの無い車両が放置されているが。産業観光課長／確認していないが、誰の物なのか調査し対処する。



現在の外ヶ浜中央病院





山口佳子議員

帯状疱疹ワクチンについて

帯状疱疹発症率は50歳代から上昇し、80歳までに3人に1人が発症するとのこと。特に高齢者は「帯状疱疹後神経痛」に移行するリスクが高まると言われ、症状も治療も長引く可能性がありワクチン接種の有効性は高いと考えられるが、効果の高い不活化ワクチンは1回2万2000円程度かかり2回接種が必要で、高額になることから接種をあきらめている方も少なくない。

◆質問／「帯状疱疹ワクチン」接種、公費助成の考えはあるか。

# 帯状疱疹ワクチンの公費助成を

■答弁▼県内市町村の動向を注視して検討してまいりたい

■町長／現時点では考えていないが、今後、県内市町村の動向を注視して検討してまいりたい。

◆再質問／県内では六ヶ所村で公費助成が行われている。外ヶ浜町でも可能では。

■福祉課長／全国的にも実施している自治体が増えている。七戸町においても実施されるとのことなので前向きに検討する。

要である。今後「認知症サポーター」を拡充することは重要だと考える。

認知症サポーターの強化について

認知症の人が地域で暮らし続けるには、行政による支援だけではなく地域住民の理解や協力が必

はあるか。

■町長／今後の取り組みとして認知症の人やその家族の支援ニーズにつながるボランティア組織「チームオレンジ」の令和6年度設置に向けてステップアップの講座を予定している。サポーターの拡充に向けても企業や小中学校に働きかけるなどし、町民一人一人が認知症に理解を深めサポートできる社会づくりを目指していく。

「子育て支援の取り組み」について

◆質問／公明党は、結党以来、子どもの幸せを最優先する社会を目指してきた。外ヶ浜町には「子どもを安心して産み育て



られるプラン」としてどのような施策があるのか。

■町長／今後「こども家庭センター」の設置を目指し、経済的支援はもちろん、町全体が子どもを守り、子育てを支援していく気運を高め、子どもを安心して産み育てることのできる町づくりを進めていく。近々の施策として10月より「保育料完全無償化」を実施する。

◆再質問／一時保育も無償になるのか。  
■福祉課長／一時保育は対象外だが、今後検討してまいりたい。

# JRの責任で津軽線蟹田―三厩間の早期復旧を

■答弁▼町民にとって便利な交通体系を 探っていくことで議論をしていく



安藤英博議員

塩越 旧夕印ホタテ加工場を買収して新道路として整備できないか

◆質問／国の2023年度予算の空き家対策総合支援事業などを活用して次のことを求める。この建物は大分壊れており、もし倒れた場合、隣の住宅に被害を及ぼすことが考えられる。この建物土地を買収して塩越バイパスにつなぎ、ホタテ作業や住民の生活道路として利用してもらうことが必要である。町の考えを伺う。



塩越地区の旧ホタテ加工場

当権が設定されており、土地の買収や取付け道路の整備等、具体的な活用はできないものと認識している。

◆再質問／塩越地区のバイパスから町道につながる道路が少ないことで、町営バスや救急車、消防

車などの出動のときは大変必要な道路となるので、各関係者の方々と協議していただきたい。

津軽線蟹田―三厩間の早期復旧を

◆質問／鉄路存続かそれともバスなどの転換か方向が見えてこない現状である。特に外ヶ浜町と今別町に関わる問題として、どのように進められているのか伺う。

■町長／持続可能な地域交通の維持構築を検討するため、当町のほか青森

県、今別町、JR、オプザバーとして国土交通省東北運輸局がメンバーとなり、今別、外ヶ浜地域交通検討会議を設置し、様々な検討をしている。

◆再質問／町民の声が多分に反映されているのか、JR、今別町との話し合いをしてきたのか伺う。

■町長／住民の関心度は、蟹田平館地区と三厩地区とでは大きな違いがあると認識をしている。住民説明会の参加人数も三厩会場が多い。当町の職員も代行バスに乗車して直接アンケートを行うなどして利用者の声を聞いている。

■町長／新聞報道を見られて誤解をしているんだと思う。今別町の町長がおっしゃっていることは、4町村で気持ちをまとめたいということではない。

今後、私の意見が変わることもあるかもしれない。





横山拓雄議員

公共施設の暑さ対策

◆質問／町内、小中学校の冷房設備設置状況について伺う。

■答弁／小中学校は保健室に1台ずつと、蟹田小学校は通級教室にも1台設置されており、中学校は保健室とパソコン教室にそれぞれ1台ずつ設置されている。

◆再質問／9月5日に小中学校に伺ったとき、午後4時の時点で気温は26度だったが、3階教室の室温は32度あり、一概に気温だけで判断してはいけないのでは。蟹田小学校では各教室に2台ずつ扇風機があるが、それでは

小・中学校「暑さ対策」

■答弁▼重要課題、近隣町村にも注視し検討する

役場本庁舎及び各支所の暑さ対策

高校生通学定期助成金の拡充について

◆質問／役場本庁舎の冷房設備は、一部では設置されているが、職員が働くフロアに無い状態では、来町する町民の方や職員

の体調管理と、作業効率向上のためにも、暑さ対策を講ずるべきと考えるが。

■答弁／町の安全衛生委員会の中で、執務環境、労働環境の向上を図るため、室外機改修及び冷房設備設置が必要と提案されており、庁舎の構造上の問題や費用、効率などをそれぞれ精査しながら、具体的に検討していく。

◆質問①／事業実施から6年目になるが、高校生通学定期助成事業開始からの利用状況は。

| 年度     | 利用人数 | 申請件数 | 助成金   |
|--------|------|------|-------|
| 平成30年度 | 61名  | 135件 | 153万円 |
| 令和元年度  | 57名  | 142件 | 159万円 |
| 令和2年度  | 52名  | 120件 | 141万円 |
| 令和3年度  | 50名  | 131件 | 179万円 |
| 令和4年度  | 45名  | 125件 | 147万円 |

■答弁／左図参照。

◆質問②／現状の物価高騰を踏まえ、3割助成から半額助成へ拡充の実現に向けて伺う。

■答弁／物価高騰が子育て世代の家計に大きな負担となっていることは十分承知しているが、助成率を5割に上げ、公費負担を増額するためには、財源確保のために他事業の縮小等を検討する必要があります。今後慎重に検討を進めていく。

◆要望／こどもまんなか社会実現に向けた施策の一環として、少しでも家計負担軽減につながるためにも、検討と実施をお願いする。



柳谷隆男議員

憩いの場づくりの第2弾を

◆質問／町福祉課が推奨している百歳体操は、健康で長生きの環境づくり

百歳体操に続く憩いの場づくりを

■答弁▼町スポーツ推進委員と協議

を創設できないか。

■町長／現在、町内12カ所で実施されている憩いの場は、心身機能の維持向上を目的とし、それぞれが創意工夫して交流に取り組んでいる。職員が出向いてのスポーツの推進については、町スポーツ推進委員の皆様と協議していく。

◆再質問／それぞれの地区に職員を貼り付ける地域担当制にし、職員と町民がよりつながるといいう方策がないか。

■町長／地域によってそれぞれなので、担当する方法もあると受け止めたと思う。  
■総務課長／地区担当制は、県内でも数カ所の自治体で実施している。当

町では実施していないが、4月から企画政策課で地域振興等の助成金を出しており、その活用をして地域の活性化に向けて取り組んでいる。  
◆要望／青森市から通って青森市に税金を払っている職員が外ヶ浜町に溶け込む意味でも、地域担当制を可能な限りお願いしたい。

こども園の副食・主食費を全額補助へ

◆質問／8月28日の全員協議会で、風のまちこども園の保育料完全無償化を実現することを伺い、町の英断に敬意を表する。この無償化に加え、現在半額補助している副食費、

おかずについても全額補助できないか。あわせて月額500円の主食費も補助できないか。

■町長／副食費の全額補助は、現時点では実施未定だが、保護者の声や社会情勢、他市町村の動向に鑑み、実施を前向きに検討していきたい。また、主食費の補助についても、必要があると判断した時には、速やかに実施を検討する。

◆要望／副食費の完全無償化は前向きにというところで大変うれしく思う。主食費も必要であれば速やかに実施すると返事をいただいた。ぜひ、早めを実現するようお願いしたい。



蟹田本町地区で行われている百歳体操の様子



8月7日、第145回臨時会が開催され、令和5年度一般会計補正予算案など3議案を原案のとおり可決し、報告案件1件を承認しました。

# 令和5年度一般会計補正予算案 212万8,000円を追加

## ○主な事業

### ひとり親世帯等臨時特別給付金給付事業費

212万8,000円

…物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯に対して、生活支援のため児童1人当たり一律5万円を給付する事業。

## 補正一般会計

ひとり親世帯等臨時特別給付金

**問** 石岡勉議員/200万円の対象の人数は、福祉課長/5万円掛ける40人で200万円と見込んでいます。

## 工事の請負契約

**ごみ処理施設基幹的設備改良工事**

**問** 戒修議員/工事の期間はいつまでかかるのか。また、この工事の期間中に町民に新たな負担は出るのか。

**答** 住民課長/契約期間は再来年の3月31日までとなる。本工事自体は来年の9月から入って再来年の3月31日までとなる。町民に対しての

## 財産の取得

み処理の新たな負担については、青森市へのごみの出し方のルールによる。現在まだ協議中なので決まり次第お知らせする。

**問** 取得する財産 小型動力ポンプ付積載車1台  
◎ 契約の相手方 有限会社丸栄消機  
◎ 取得価格 1462万9560円  
※平館第7分団小型動力ポンプ付積載車の老朽化に伴い、新たに小型動力ポンプ付積載車1台を取得するため。

**問** 石岡勉議員/年々、消防車両に関して、装備品の値段が上がってきている。この額より安い価格の小型動力ポンプ付積載車がある。平内町では積載する部分のつくり方がかなり

## 専決処分

【専決処分した事項の報告及び承認を求める件】報告第1号  
令和5年度外ヶ浜町一般会計補正予算

(老朽化により故障し不通となっている三厩藤嶋地区の防災行政無線更新費用について、緊急に予算措置を要するため。)

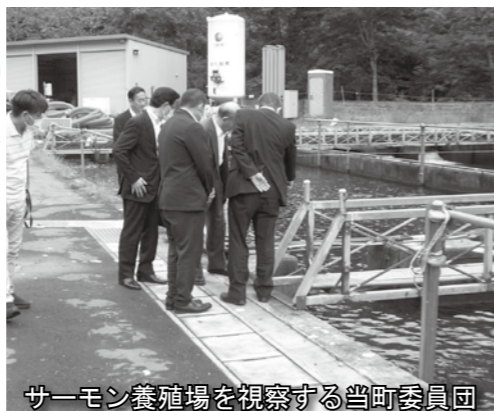
## 町村議会 広報研修会

8月31日、青森県労働福祉会館において、町村議会広報研修会が開催され、当町議会からは5名の議会広報特別委員が参加しました。

研修会では、一般社団法人埼玉県コミュニケーションセンター理事長の芳野政明氏を講師に迎え、「住民に読まれ、伝わり、議会の見える化へ」と題して講演があり、議会広報の基本と編集について学びました。

## 岩手県 大槌町

### 「大槌サーモン」について



サーモン養殖場を視察する当町委員団

「大槌サーモン」のテレビCMを見て、行政がどうかかわっているのか研修しました。

大槌町では民間の2つの事業所がニジマス系トラウトサーモンとギンザケを海面と淡水で養殖を行っています。

大槌町のサケ養殖は昭和31年から行われて、また、塩引き鮭は約四百年前に当地で始まっており、新巻鮭発祥の地とも言われています。

養殖は大手水産会社と地元建設会社の2社が行っており、2社の社員及び商品加工や販売に関わる事業所と人数は多くなっています。行政はそれを円滑に進めるための黒子となり、関連するすべてが町全体の知名度アップ、PRになっていると感じました。

我が外ヶ浜町でも、今後、三厩漁港の大改修の計画では、港内に生け簀を設置し、サケ、サーモン等の販売やにぎわいの場を作り出す構想も出ています。

養殖事業者、漁協、加工、販売がきちんとつながるようにして行くことが行政の仕事と改めて思う研修でありました。

産業建設常任委員会  
委員長 石岡 勉

## 岩手県 岩泉町

### JR線廃止について

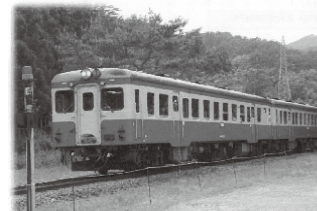
我が町のJR津軽線蟹田～三厩間の存廃問題の参考にするため、岩手県岩泉町にJR岩泉線の廃止受入れとその後の交通体系の構築について研修しました。

JR岩泉線は平成22年7月に土砂崩落で運休。町は早期の鉄道での復旧を要望していましたが、平成25年11月にJR側が「廃線後の代替輸送」と「地域貢献」を提案しました。岩手県も道路整備を確約したこともあり、苦渋の決断で廃止を受入れたそうです。以下、次の3点が重要な点と聞きました。

- ① 鉄道での復旧に多額の工事費(約160億円)が必要で、町にも負担割合が発生すること。
- ② バス転換後の運行費用はJRが負担する。

特別号  
いわいずみ  
平成25年11月14日発行  
広報

### JR岩泉線廃止 国道340号道路改良へ方向転換



苦渋の決断：廃止受入れ  
「JR岩泉線は平成22年7月に土砂崩落で運休。町は早期の鉄道での復旧を要望していましたが、平成25年11月にJR側が「廃線後の代替輸送」と「地域貢献」を提案しました。岩手県も道路整備を確約したこともあり、苦渋の決断で廃止を受入れたそうです。以下、次の3点が重要な点と聞きました。」

平成25年11月発行の「広報いわいずみ」

現在では利便性を高めるため、停留所の増設、宮古市の大きな病院まで乗り換えなしの便の運行等が行われています。

大槌町では民間の2つの事業所がニジマス系トラウトサーモンとギンザケを海面と淡水で養殖を行っています。大槌町のサケ養殖は昭和31年から行われて、また、塩引き鮭は約四百年前に当地で始まっており、新巻鮭発祥の地とも言われています。



受講中の当町議員



# より迫力のある一般質問へ



第146回定例会より、一般質問時の質問者席が、従来の議場横扉前から理事者席の正面（議員席の一部）へ移動となり、より迫力のある構図となりました。

一般質問では、外ヶ浜町の置かれている状況、今後に向けての対策や政策の提案、それらに関する議員と行政とのやり取りなど、活発な議論が行われます。みなさん、ぜひ傍聴へお越しください。

『みなさんの声』  
お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの要望など、「みなさんの声」を募集しています。

例えば：

- ・ 文字が小さくて読みづらい、見出しをもっと見やすくしてほしい。
- ・ 質疑についてももう少し細かく教えてほしい。
- ・ 議会で検討するとされた答弁の、その後を知りたい。

・ 町内の家族や町民の紹介記事も入れてみてはどうか。

など、どんな「声」でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、どうぞ議会事務局（31-1230）までお寄せください。

いただいた「声」は、紙面に掲載させていただくこともあります。その際にご連絡させていただきます。

議会広報特別委員会

## 編集後記

記録的な猛暑が9月まで続き、短い秋から一気に冬が来たような感じがする。四季がなくなり二季になるとの報道にうなずいた。

我々人間は、移動したり、エアコン等で暑さに対処できるが、農産物、水産物は死滅する危機にある。当町の主要水産物のホタテも高水温で稚貝の大量死と聞いてショックを受けている。中国の輸入禁止とダブルの衝撃だ。来年以降の生産に大きな問題と認識し、行政として生産者の安心につながる施策を考えなければならぬ。

一次産業は当町の一番主要な産業であることは今後も変わらない。これこそ「一丁目一番地」である。

石岡 勉

## 議会広報特別委員会

委員長：福井 洋一

副委員長：横山 拓雄

委員：山口 佳子/柳谷 隆男

浜谷 恭市/石岡 勉

三上 満